

令和 8 年度第 3 回佐治地域振興未来会議 議事概要

日時：令和 8 年 7 月 8 日（水）午後 6 時 3 0 分～

場所：佐治町総合支所 2 階 大会議室

〔出席委員〕 10 名

小谷繁喜、田中早雄、岸田みち代、谷上正樹、阿久津奈穂子、岡村夏来、堀英範、小林憲二、谷口勝男

〔教育総務課 校区審議室〕 2 名

岡部室長、石川主任

〔地域振興課〕 1 名

坂本総括主査（総合支所エリアマネージャー）

〔事務局〕 5 名

岡本支所長、下石副支所長兼地域振興課長、山下産業建設課長、上田市民福祉課長
倉持地域振興課課長補佐

〔日程〕

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議・報告事項
 - （1）千代南中学校区の児童・生徒数の推移について（教育総務課 校区審議室）
 - （2）休園中のさじ保育園に係る入所意向調査について（幼児保育課）説明：事務局
 - （3）その他
4. 閉会

〔議事概要〕

3. 協議・報告事項

- （1）千代南中学校区の児童・生徒数の推移について（教育総務課 校区審議室）

【校区審議室】鳥取市全体では児童生徒数が令和 4 年から令和 14 年までの 10 年間で約 27.7%減少すると推計されています。佐治小学校は令和 8 年度入学者が 0 名であり、今年度は全校で 29 名です。用瀬小学校は令和 1 2 年度までは約 100 名で推移しますが、令和 1 3 年度から減少し 89 名に。千代南中学校の生徒数は令和 8 年度 77 名で令和 20 年には 40 人台に減る見込みです。児童数減少により学校運営や部活動に影響が出る懸念があります。

鳥取市は令和3年度に「鳥取シリーズ適正規模適正配置基本方針」を策定しました。小学校の適正規模は12～18学級が目安とされますが、あくまで議論の参考です。大規模校と小規模校それぞれに強みと課題が存在し、それを踏まえて学校の今後のあり方を検討しています。

鳥取市を5つのブロックに分けていますが、南ブロックは千代南中学校区、河原中学校区でそれぞれ再編を検討中です。第1回会議で中学校区ごとに検討することが合意されました。河原中学校区は検討委員会を設置して具体的な再編案の検討を進めていますが、千代南中学校区は議論が停滞気味で改めてアンケート調査などで意見を集め、議論の活性化を図る予定です。

・千代南中学校区での今後の検討手順

①各小学校・保育園の保護者・地域の意見をアンケート調査で収集、②「千代南中学校区のあり方を考える会」を設置し代表者による検討、③最終的に学校の方向性をまとめ教育委員会に提出します。今はまだ①の段階で、地域アンケートは必須ではなく、必要に応じて話し合いの中で実施するか決定します。

・義務教育学校（小中一貫校）の導入に対する現状の課題

保護者の多くがメリット・デメリットを十分に理解しておらず約3割が判断に迷われています。具体的なイメージや実例の説明が不足しており、今後、勉強会や視察等の情報提供を通じて理解を深めていく必要があります。義務教育学校はあくまで選択肢の一つであり、今すぐの決定ではなく議論の一環としての提案になります。

【委員】学校統合の準備期間や過去の事例が知りたい。

【校区審議室】逢坂小学校と浜村小学校の統合では、施設移行だけでも最低1年の準備期間が必要でした。新校舎の建設が伴う場合はさらに長期間かかるため、先読みした計画的な準備が重要です。統合は急にできるものではないため、段階を踏んで進める必要があります。

【委員】用瀬小学校のプールが使えないと聞いている。また教室の数が不足する場合など設備に関すること議論が必要ではないか。

【校区審議室】用瀬小学校のプールは老朽化により利用できず、民間プールへの移行を検討・実証中です。民間施設は指導者がいるなどのメリットもあります。教室数や老朽化問題についてはまだ具体的に決まっていますが、再編検討委員会の段階で施設の有効活用など詳細を議論していく予定です。今は児童数減少を踏まえ、校区内をどうするかの大枠の検討が優先されます。

【委員】保護者や地域の話し合いが進まない原因はなにか。

【校区審議室】学校統合に関する不安や思いが多様で、立場や世代間で意見がまとまりにくい問題があります。誰がイニシアチブを取るかが不透明で当事者意識が持ちにくく、地域で合意形成が進みにくい状況にありました。現在は、話し合いが進んだ地域の事例が増えたこともあり、そうした問題解消に向けて努力しているところです。行政としても支援しつつ、考える会の再始動で十分な議論を進めていく方針です。

【委員】今後、どのようにして検討を進めていくのか。

【校区審議室】今はまだ話し合いと意識調査の段階です。まずはアンケート調査を基に保護者や地域の声を把握し、「考える会」を通じて地域代表と学校関係者が議論。具体的な再編案はこのプロセスを経て検討され、必要があれば地域への追加調査も検討します。義務教育学校の視察に行く等の事例紹介や勉強会も実施し、理解を深めながら合意形成を図って行きたいと考えております。

(2) 休園中のさじ保育園に係る入所意向調査について（幼児保育課）説明：事務局
佐治保育園の令和9年度の入所意向調査結果について報告。

【事務局】令和9年度に佐治保育園に入所予定の14名中、回答があったのは8名（57.1%）。入所希望者は0名でした。令和8年度調査時は対象児童13名に対し入所希望者は2名。保育園は令和7年4月1日より休園しており、今後の対応は調査結果を踏まえて検討します。

【委員】さじ保育園入所希望者が少ないのはなぜか？

【事務局】地理的要因が大きく、さじ保育園の立地が通勤・通学経路から遠く、朝の時間の送迎の負担が大きいため利用しにくいことが挙げられます。

【委員】回答していない方へ回答の催促はしたのか。

【事務局】しておりません。

【委員】調査の回答率が低いことを考えれば未回答者へ催促して意向を確認すべきではないか。また、保育園は校区外の園に通うことも出来る。佐治だけでは14人しかいないので、佐治以外の周辺地域へアンケート対象を拡大するなど出来ないか。

【事務局】後日、回答します。

(3) その他

次回、日程のお知らせ

令和8年8月6日午後6時30分から開催予定。

以上、午後8時20分協議事項終了。